

保健師だより



第 271 号
2025 年 10 月
神奈川県建設連合
国民健康保険組合
藤田

欧米での乳がん検診受診率は 7 割を超え、死亡率が減っている一方で日本の乳がん検診受診率は 40-69 歳の方で 47.4%（昨年度神建連国保同年代 30.4%）と非常に低く、乳がんによる死亡は 35 年前と比べて 3 倍以上に増えています。神建連国保ご加入の方は基本健診と併せてがん検診も無料で受けられます。ぜひ毎年度セットで受けましょう。

無料のがん検診を見逃さないで！

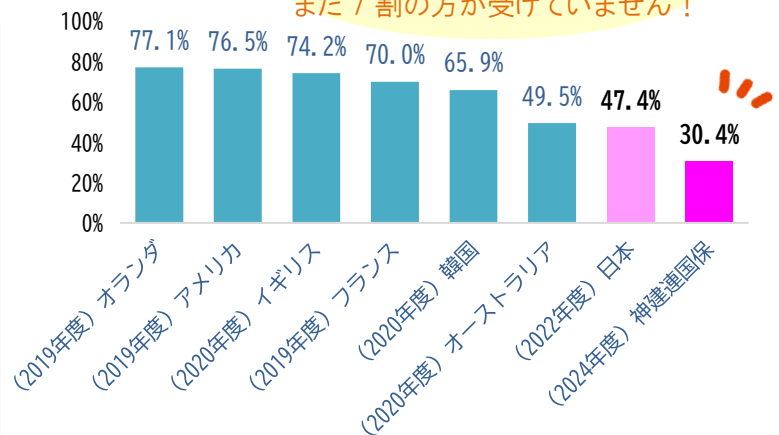
神建連国保にご加入の 20 歳以上の女性の方は毎年度 1 回基本検査と併せて、無料で乳がん検診を受けられます！検診の実施施設は右下 URL（ホームページ）から検索できます。

基本検査受診の際にお受けになれなかった場合は年度内であれば、がん検診のみの補助も実施しています。詳しくは神建連国保の保健課までお問い合わせください。なお、基本検査受診の際に乳がん、子宮がん検診の受診がなかった方には封書で案内を送付しています。

神建連国保保健課
☎ 045-453-9661(代)



神建連国保の受診率は 5 年間で 4% アップしましたが、それでもまだ 7 割の方が受けていません！



※第 39 回がん検診のあり方に関する検討会/厚生労働省資料より作成。
日本、神建連国保は 40-69 歳、韓国は 40 歳以上で、それ以外の国では 50-69 歳、50-74 歳と集計年代が異なります。

セルフチェックも大切

乳がんは早期では自覚症状が現れないことも多いのですが、場合によってはしこりなど乳房の変化に自分で気がつくことができる可能性があります。日頃から自分の乳房の状態を意識しておく、ささいな変化にも気がつくことができます。変化に気づいたら、次の定期検診を待たずにすぐに医療機関を受診しましょう。

乳がん検診の中身は？

現在、乳がん死亡率の減少効果が国際的に証明されている検査がマンモグラフィです。X 線検査により、しこりの影や石灰化を写し出し、早期の乳がんも発見が可能です。一方で、40 歳未満の若年女性の場合、乳腺が発達しているため、マンモグラフィの画像が全体的に白っぽくなり、しこりの有無が分かりにくいことがあります。こうした乳房を「高濃度乳房」といいますが、このような場合は超音波検査が有用とされています。どちらの検査を受けたらよいか悩んだ時は、年齢が判断基準の一つになりますが、過去に指摘がある、かかりつけがある方は乳腺専門医に相談しましょう。



神建連国保の検診はマンモグラフィか超音波検査のいずれかの検査を選択して受けることができます。

インフルエンザの
流行に備えよう！



10 月より各医療機関でインフルエンザ予防接種が始まります。今年は 9 月頃から各地で流行が発生しています。ぜひ本格的な流行前に予防接種を済ませましょう。神建連国保では小学生以下の方に一律 4,000 円、中学生以上の方に一律 2,000 円のインフルエンザ予防接種助成をしていますのでぜひご活用ください。

※9 月に送付した国保だより申請書と返信用封筒を同封しています。